

# サロン 登美ヶ丘茶論(16)

2021年4月



世論調査(せろん)でははっきりしている五輪終(ごりんじゅう)

## ◆ 憲法もって繁栄の日本を!

桜は咲いて散ったが、コロナ・ウィルスのおかげで花の下での宴とはいかなかった。酒なくて何が己の桜かな、です。来春もコロナ禍は終息していないでしょう、まことに残念。

コロナ・ウィルス感染重症患者多数で病床が逼迫していると「医療非常事態宣言」が出されたが、この20年間に病床と医師・看護師の削減を進めたのは---、とマス・メディアでも論じられているが、この間も軍事費は増え続けた。医療費・社会福祉費の削減で少子化・人口減が進み、「そして誰もいなくなった」では、何のための防衛だ。先の大戦末期の国体護持・一億玉砕と同じく本末転倒だ。憲法9条・25条を守ってこそ日本は繁栄する。

憲法まもうろ! (Mさん)



原子炉のデブリ保存は10万年

接待を受けていませんウンだけど

中止では金にならないI O C

政府のコロナ対応	世論調査資料	五輪開催
読売(4/2-4) 評価する 35% (前回 45) 評価しない 59% (前回 50)	共同(4/10-12)	中止・再延期 72% 開催すべき 24.5%
JNN(4/3-4) 評価する 38% (前回 31) 評価しない 50% (前回 45)	朝日(4/10-11)	中止・再延期 69% 開催すべき 28%

・米紙ニューヨーク・タイムズ(電子版)4/12付は、東京五輪も開催は「最悪のタイミング」であり、日本と世界にとって「一大感染イベント」と報じました。その他英紙ガーディアン、タイムズ、仏紙ルモンド、独紙南ドイツ新聞等海外メディアが軒並み批判記事を掲げています。

逆風に耐えて五輪はやるものか

五輪後は世界変異種見本市

「毎日のラム」近事片々から

- ・関係者の理解なしに、いかなる処分も行わない」との約束はどに。政府、福島汚染処理水、海洋放出決定。
- ・実際の放出は2年後と、と。まず結論推しつけ、理解は後からついてくる、とでも?
- ・地元の理解は避けて通って。汚染処理水の海洋放出、「避けて通れない」と首相。何故押しつける。
- ・地元の意向無視が「辺野古」に重なる。福島の汚染処理水、明日にも海洋放出決定
- ・「このままで訪米」では済むまい。新たな感染者、大阪で1000人超。拡大する「まん延」首相次の一手は?
- ・こちらも視界不良。東京五輪開催まで1000日。英米紙が開催に疑義。
- ・何が何でも開催論よりまともな感覚では。東京五輪。「無理ならやめなさい」と自民二階幹事長。
- ・開催には「安全」の具体策が不可欠。さまざまな事態想定し、タブーなき議論を。(mhさんのスクラップより)

「記憶ない」覚えてるけど言わされて





### ◆ 政府等のコロナ対策を問う

政府や大阪府、東京等がやっているコロナ対策は、感染の波が襲ってくる度にいわばブラック・ボックス全体に網を掛けて抑える方式を繰り返す、その内ワクチン接種が広がれば終息して行くだろう、それまでは何とか持ち堪える、という程度のものでしょう。私はかねてから、無料大規模検査を実施して感染の全体像を掴むことこそが最大の感染対策だと思っていましたから、3/29 付毎日新聞記事「広島県民全員に無料 PCR 検査 4 月 対象拡大、予兆を早期把握」という記事には注目しました。そこでこの記事 nett で追っていくと、リンクして「PCR 検査の全県展開について」という広島県の公告は勿論、中国新聞、ヤフー・ニュース、「赤旗」電子版 3/23 付の記事等々を閲覧することができました。私が注目したのは「赤旗」電子版の次の記事でした：

同県の大規模検査戦略の考え方は東京大学・合原一幸特別教授、中国上海師範大学・郭謙教授らの共同研究グループの「感染症数理モデル」に基づいています。

同モデルは PCR 検査の集中実施で無症状感染者を早期発見・保護し、市中での感染連鎖を断ち切った方が、営業時間の短縮要請などによる社会的コストがかからず「社会経済へのダメージを軽減できる」としています。同県が支出した飲食店への時短要請の協力金などの予算総額は3月末までで149 億円。これに対し、PCR 集中検査の実施費用は 10 億 4 千万円です。

PCR 検査有効広島県健康福祉局の平中純総括官は「民間の力も活用しながら PCR 検査センターを設置し大規模検査をした結果、感染爆発が収束に向かったことを経験し、PCR 検査の有用性を認識した」と振り返り、「コロナ対策は陽性者の早期発見・早期保護・早期治療が最大の感染対策だ」と強調します。「昨年9月、呉市の高齢者施設でのクラスター発生の時、無症状者も含めた全員検査が必要だと意識が変わりました。その後、県として積極的に広報し PCR 検査をする人が増えた結果、感染者を捉えることができています。県と県民が一緒になった取り組みが陽性者を抑えられているのでは」と話します。  
(ゴチックは編集者)

PCR 検査を妨害する真逆の動きもありますー吉村大阪府知事の「無症状感染者検査を拡大して感染を抑える戦略は完全に破綻した」；「緊急事態宣言で感染を減らしすぎた結果、変異株が既存株に取って代り急拡大した」という発言には驚かされます。これは「PCR 検査を広げたら偽陽性者が真の感染者より非常に大きくなり、医療資源を圧迫し医療崩壊が起る」という趣旨の厚労省の内部秘密文書と軌を一にするものか？週刊誌広告に「ヤッテルふりは一流」知事というのがありました。

立憲民主馬淵議員も、「検査の拡大と隔離が最も重要な対策であるのに検査は進まない」；「6 月までに全高齢者 2 回接種の状況でない」；「ワクチン接種が PCR 検査の二の舞になってしまわないか」；「厚労省はワクチン接種の主導権だけは握りつつ、実際の業務の準備は現場に丸投げ」と批判しています。

日本の PCR 検査は世界の 145 位。しかも頼みとするワクチンは実にお寒い現状です。今朝(4/18)の TV「サンデー・モーニング」によると、英は 93% に対して日本は 1% にも満たないのです。英オックスフォード大の研究者らによる 10 日時点での集計では、少なくとも 1 回接種を受けた人の割合は全人口の 61.35% (イスラエル)、35.03% (米国) です。日本の医療従事者 (480 万人) への接種も 2 回接種を終えた人はまだ 50 万人程度、12 日に始まった高齢者 (3600 万人) の受検は 1100 人余であり、「6 月までに 5 千万人分」の見通しも果して本当に信頼できるのか？ (Y さん)

「茶論」への御投稿をお待ちしています。どんな話題でも結構です。気軽に御投稿ください。掲載時、投稿者は匿名扱いとします。原稿は以下の世話人ポストへ放り込んでください：石田(松陽台 2-16-4 ☎46-0352)、赤沢(鳥見 2-5-1)、秋山(東登美 4-22-19)、藤田(西登美 4-17-4)、堀江(西登美 1-20-7)、宮田(鶴舞西 2-10-C505)、初谷(中登美 4-1 ローレル I-7-204)、森本(西登美 1-22-21)

### 登美ヶ丘九条の会



五輪後の後の祭りが恐ろしい

ポイントをビミョウにズラしハイ答弁

「汚染水コントロール」の嘘の罰

週刊誌出たらしゃあない詫びとこか

高らかに嘘をついてた権力者

謝辞する時も原稿見る総理